平成２９年豊川市議会第１回定例会代表質問一覧表（会派順）１

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・１６</td><td>通告者名</td><td>とよかわ未来　　堀内重佳</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>代表質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一括方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　平成２９年度施政方針及び予算案大綱について

（１）　平成２９年度予算編成で特に留意した点について
（２）　まち・ひと・しごと創生総合戦略について</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会代表質問一覧表（会派順）２

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２２</td><td>通告者名</td><td>清風会　　大野良彦</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>代表質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一括方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　市長３期目にあたり、今までの成果への認識と残りの任期中の目標について

２　少子高齢化社会への対応について

３　防災対策について</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会代表質問一覧表（会派順）３

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２３</td><td>通告者名</td><td>公明党市議団　　井　川　郁　恵</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>代表質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一括方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　平成２９年度施政方針並びに予算案大綱について

（１）　社会保障施策について
（２）　教育施策について</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会代表質問一覧表（会派順）４－①

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２３</td><td>通告者名</td><td>日本共産党豊川市議団　　佐藤郁恵</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>代表質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一括方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　平成２９年度施政方針について

山脇市長は平成２９年度施政方針で、人口減少等に対応するため「第６次総合計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、副市長を２人体制にし、トップマネジメントを強化すると述べている。
また、八幡地区の工場跡地について、公共施設の集約や用途地域の変更を含め対応することを述べている。これらのお考えについて以下伺う。

（１）　イオンモール進出方針についての対応
①　イオンモール側から「岡崎や浜松より大規模になる」方針が明かされたと聞くが、その内容について
②　イオンモールの進出規模がおおよそ掴めた段階で、改めて商業への影響調査、周辺交通への影響調査を行う考えについて
③　平成２９年度、商工費は前年度より減額だが、商業振興の考え方について
（２）　公共施設の集約化とコンパクトシティは、国の諸施策の中で将来に渡っての財政支出削減と民間解放がめざされており、それでいいのかが問われている。以下お考えを伺う。
①　小坂井地区公共施設再編整備にあたり、ＰＦＩ方式ではないものの、今後の考え方は。
②　コンパクトシティに関わる「豊川市立地適正化計画」の趣旨とめざす将来像について
また、「公共施設等適正管理事業費」等国の支援内容と、本市の該当事業の想定について
③　都市機能誘導区域が機能するかは、公共交通ネットワーク次第であり、ＪＲ愛知御津駅、西小坂井駅の無人化方針があるなど、公共交通の存続、利便性の拡充が課題と思う。その認識と対応について</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会代表質問一覧表（会派順）４－②

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２３</td><td>通告者名</td><td>日本共産党豊川市議団　　佐藤郁恵</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>代表質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一括方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">２　御津地区児童館方針について

施政方針では、「旧宝飯地区の合併満足度の低下を真摯に受け止め、全ての市民が一体感や愛着を感じ、誇りを持てるまちづくり推進」をかかげ、市民の信頼を重視することを述べている。以下、御津地区児童館方針について伺う。

（１）　御津地区の児童館３館を廃止し、御津福祉保健センター内一部を改修し、新たに児童館１館をつくる方針が出され、住民説明会が行われた。その説明の概要と住民の意見はどうであったか伺う。
（２）　３館を１館にすることで遠くて通えなくなったり、面積が約６割に減ったりすることで、利用者が大幅に減ることが予想されるが、その認識について
（３）　現利用者の実態・意見調査を行うお考えについて

３　子どもの貧困対策について

少子化対策、子育て支援には、子どもの貧困対策という視点をもつことが大事な時代になっていると思う。以下、お考えを伺う。

（１）　子どもの貧困調査の状況と対策について
（２）　「子どもの貧困対策についての検討の場」「子どもの貧困対策についての計画」について、本市の考え方、状況
（３）　子どもの医療費無料制度１８歳まで拡大についての本市の認識と検討状況について
（４）　就学援助（準要保護）で、新入学児童生徒学用品費等の充実の考えについて
（５）　学校給食費の無料化を国に働きかけるとともに、本市として検討するお考えについて
（６）　給付型奨学金制度の充実を国に働きかけるとともに、本市としても検討するお考えについて</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会一般質問一覧表（通告順）１

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・１６</td><td>通告者名</td><td>神　谷　謙太郎</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>一般質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一問一答方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　本市の公共下水道事業について

（１）　整備計画について
（２）　維持管理計画について
（３）　経営について
（４）　災害対策について
（５）　「豊川市下水道ビジョン」の策定について</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会一般質問一覧表（通告順）２

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２０</td><td>通告者名</td><td>冨田　　潤</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>一般質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一問一答方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　災害対策について

災害対応については災害対策本部が設置されない規模のものもあります。その際の豊川市の対応について伺います。

（１）　災害対策本部が設置されない災害時の対応について
（２）　６月に起こった倒木災害の豊川市の対応について

２　国道２３号名豊道路について

名古屋と豊橋を結ぶ７２．７㎞の国道２３号名豊道路が、残りの未開通区間は蒲郡バイパスの豊川為当ＩＣから蒲郡ＩＣ間となりました。そこで現在の進捗状況と未開通による影響と対策を伺います。

（１）　進捗状況について
（２）　周辺交通への影響について
（３）　地元要望と交通対策について
（４）　整備の促進について</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会一般質問一覧表（通告順）３

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２０</td><td>通告者名</td><td>中　村　浩　之</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>一般質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一問一答方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　学校図書館について

２０２０年度から順次実施される小・中学校の学習指導要領の改定案が公表され、次代を担う児童生徒たちに求められる力が、従来のものとは変わってきているようである。学びの基礎となり成長の過程を育む学校図書館は、それらを支える重要な教育環境の一つであると考える。そのための役割を果たすべく整備・運営、そして機能面を確認するとともに、本市の今後の取り組みについて伺う。

（１）　小・中学校の図書館の現状について
（２）　中央図書館との連携について
（３）　学校図書館図書整備５カ年計画について

２　安全対策について

平成２７年市民意識調査によると「歩行者にとっての道路の安全性」は、重要度９４．６％に対して満足度３４．４％と最も乖離の大きい結果となっている。これは、そのまま対策の必要性を表していると考えられる。平成２８～３２年度を計画期間とする「第１０次交通安全計画」の策定も進んでいると聞いているが、本市の取り組みの進捗状況と、今後どのようにその安全性を高めていくのかについて伺う。

（１）　交通安全施設の整備状況について
（２）　第１０次豊川市交通安全計画について</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会一般質問一覧表（通告順）４

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２０</td><td>通告者名</td><td>大　場　昌　克</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>一般質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一問一答方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　とよかわブランドの推進について

（１）　とよかわブランドの経緯について
（２）　とよかわブランドの認定基準について
（３）　今後の認定について
（４）　東三河広域連合によるブランド認定について
（５）　とよかわブランド認定後の取り組みについて</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会一般質問一覧表（通告順）５

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２０</td><td>通告者名</td><td>倉　橋　英　樹</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>一般質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一問一答方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　建設工事業における現場監督体制について

（１）　建設工事の技術者について
（２）　現場代理人の常駐義務の緩和について</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会一般質問一覧表（通告順）６

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２０</td><td>通告者名</td><td>八　木　月　子</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>一般質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一問一答方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　障害者福祉の充実について

（１）　障害者差別解消法に対する本市の取り組みについて
（２）　視覚障害者に対する歩行訓練事業について
（３）　聴覚障害者に対する意思疎通支援の取り組みについて</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会一般質問一覧表（通告順）７

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２０</td><td>通告者名</td><td>小　林　琢　生</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>一般質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一問一答方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　保育園の課題と対策について

本市では、「子ども・子育て支援法」の考えを基本に、子どもとその保護者に必要な支援をするとされています。その中において、保育園の位置づけはたいへん重要であり、しっかりした運営が求められます。
そこで、本市における保育園の課題と対策について伺う。

（１）　現状における保育園の課題について
（２）　課題に対する対策について
（３）　今後の方針について
（４）　保育施設の統廃合について</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会一般質問一覧表（通告順）８

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２０</td><td>通告者名</td><td>石　原　政　明</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>一般質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一問一答方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　本市の立地適正化計画による活力あるまちづくりについて

（１）　コンパクトな都市構造の推進について
（２）　定住人口増加施策について
（３）　各拠点の活性化について</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会一般質問一覧表（通告順）９－①

通告月日	２・２０	通告者名	安　間　寛　子
		質問の種別	一般質問
		質問の方式	一問一答方式

発言の要旨

１　自衛隊員の命を守ること、南スーダンＰＫＯ派遣について

２０１６年７月、南スーダンの首都ジュバで発生した大規模な戦闘の様子を伝えた防衛省・統合幕僚監部の「日報」問題は、防衛省が組織ぐるみで「日報」を意図的に隠していたのではないか、との疑惑を広げています。さらに開示された「日報」を読みますと、「戦闘」「着弾」「中国軍兵士死傷」などと書かれており、これは、先の国会での政府答弁と大きく食い違うとともに、ＰＫＯの任務に就いた豊川市民である陸上自衛隊員の生命に関わる大問題だと考えます。以下、伺います。

（１）　南スーダンの情勢について

①　先の１２月議会で、総務部長は「（南スーダンでは）ＰＫＯ法における武力紛争は発生しておらず」と言うものの、「首都ジュバについては７月に大規模な衝突が発生」、「楽観できず引続き注視」と述べました。さらに「現在は比較的落ち着いている」と答弁しました。昨年１２月２６日、防衛省・統合幕僚監部で南スーダンの情勢を伝える「日報」が見つかり、一部黒塗りとはいえ、その内容が公開されたいま、本市は、南スーダンの情勢（昨年７月頃）について、どのような認識を持っているか、あらためて伺う。

②　防衛省・統合幕僚監部が「日報」を隠していたのではないか、との疑惑について本市はどのように考えるか。

（「日報」問題の経緯は、２０１６年１２月２日、防衛省は「日報を廃棄」として、不開示を決定。１６日、稲田防衛相が再調査を指示。２６日、「統幕」が「日報」データを発見、一部公開）

（２）　安倍政権に対して地方自治体の首長が、南スーダンＰＫＯからの自衛隊の撤退を求めることについて

①　竹本副市長は、昨年の９月議会で「（自衛隊のＰＫＯ）派遣のような国際社会における国家としての存立に係る事務は、国と地方の役割分担の中では、これは、国が担うべきもの」「一地方公共団体としてはお答えする事項ではない」と述べました。さらに１２月議会では「地方自治法第１条の②にあるとおり、…国が重点的に担うもの」と答弁し、自衛隊のＰＫＯ派遣についてふれることを避けましたが、現在も同じ認識なのか伺う。

②　竹本副市長の主張は、いわゆる「国の専権（専管）事項」論と考えます。すなわち国が、防衛・外交・治安といった大きな分野に責任を持ち、地方自治体の任務は住民に身近な行政に限るという考え方です。昨年１２月議会で竹本副市長が答弁した「国際社会における国家としての存立に係る事務」とは何か、自衛隊のＰＫＯ派遣の他にどんなものが該当するのか伺う。

平成２９年豊川市議会第１回定例会一般質問一覧表（通告順）９－②

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２０</td><td>通告者名</td><td>安　間　寛　子</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>一般質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一問一答方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">③　豊川市には、市民である陸上自衛隊員の生命を守る責任があると考えるが、本市の認識を伺う。
④　①②③の質問を踏まえて、あらためて南スーダンＰＫＯからの自衛隊の撤退を求めたいが、山脇市長の考えを伺う。

２　旧４町との合併から１０年の検証について

国の「平成の大合併」の方針のもと、豊川市は、２００６年２月に宝飯郡一宮町と、２００８年１月に御津町・音羽町と、そして２０１０年２月には小坂井町と合併しました。今年は一宮町との合併から１１年目を迎えます。合併前に町民に配布された豊川市・一宮町合併協議会のパンフレットを読みますと、当時想定していた「新しい市の姿」とは異なる状況が生じています。旧町民からは「なぜ総合支所がなくなったのか」「なぜ福祉サービスが低下したのか」など、旧一宮町政と比較して「暮らしにくくなった」という声が上がっています。
「平成の大合併」を先導した西尾勝・東京大学名誉教授は、２０１５年３月、国会の「大合併と道州制」についての参考人質疑で「結果を見ると大失敗」「道州制には反対」と反省の弁を述べました。４月の同質疑では、佐々木信夫・中央大学教授が「地方分権の主体をつくる意図の合併が財政主導の改革に終わってしまった」、また井戸敏三・兵庫県知事は「合併によって、ひずみが出てきている。郡部の疲弊は非常に著しく、公共施設など身近なサービス施設が統合されることで住民から公共サービスが遠くなってしまった」と述べました。豊川市と旧４町の場合、合併はよかったのか、悪かったのか。新たな「まちづくり」が豊川市で計画されつつある今、本市の「平成の大合併」への総括も、不可欠だと考えます。以下、伺います。

（１）　合併直前の４町と、合併１０年後の市の財政状況等の比較について
①　財政力指数、一人当たりの借金と貯金、一人当たりの標準財政規模
②　職員数と職員一人当たりの市民数、議員数と一人当たりの市民数
③　旧町役場の（総合）支所機能と保健センター数、各種行政サービスの比較
④　合併後１０年間の旧４町の地域ごとの普通建設事業費の推移
（２）　本市は４町合併の検証をどう総括しているか、伺う。（市民意識調査等も踏まえて）</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会一般質問一覧表（通告順）９－③

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２０</td><td>通告者名</td><td>安　間　寛　子</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>一般質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一問一答方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">３　これからの豊川市のまちづくりについて

いま豊川市は、『未来のとよかわビジョン２０２５　第６次総合計画』『豊川市公共施設等総合管理計画』『豊川市都市計画マスタープラン』『豊川市立地適正化計画』『期日前投票所の増設及び投票区・投票所の見直し』など、これからの「まちづくり」計画を次々と提案しています。同時に、日本共産党豊川市議団が実施した「市民アンケート」にも、様々な「まちづくり」に対する要望・不安が寄せられています。
私は、市民の要望・不安を、本市の計画に最優先課題として取り上げて議論してほしいと考えています。以下、具体的に伺います。

（１）　市内バスの路線と本数の検討、高齢独居者など「交通弱者」に対する運賃・支援はどうなるのか
（２）　旧町役場の支所の機能はどうなるのか
（３）　旧町地域内の文化ホール施設はどうなるのか
（４）　投票所・期日前投票所はどうなるのか</td></tr>
</table>

平成２９年豊川市議会第１回定例会一般質問一覧表（通告順）１０

<table>
<tr><td rowspan="3">通告
月日</td><td rowspan="3">２・２０</td><td>通告者名</td><td>早川　喬俊</td></tr>
<tr><td>質問の種別</td><td>一般質問</td></tr>
<tr><td>質問の方式</td><td>一問一答方式</td></tr>
<tr><td>発言の要旨</td><td colspan="3">１　義務教育における学力問題について

小・中学校の次期学習指導要領の改正案が公表されましたが、現在の学習指導要領は、平成２３年度から小学校、平成２４年度から中学校がスタートされています。これまでの学校現場での状況を踏まえて現状と課題、今後の方針についてお伺いします。

（１）　学力向上の取り組みについて
（２）　英語教育について
（３）　ＩＣＴ機器の活用について</td></tr>
</table>